

## 平成28年度「高校生社会参加促進事業」の取組概要

番号	31	学校名	大淀高等学校
----	----	-----	--------

### 1. 取組名 能楽体験

### 2. 活動内容

1年次の「奈良TIME」で、毎年10月末～11月初旬に実施。「桧垣本猿楽座」は現在の太田町が発祥の地で、これが後の能楽に発展した。こうした地域の伝統芸能の継承・普及を目的に、太田町文化会館（あらかしホール）が中心となり「太田町能楽プログラム」が取り組まれている。本校の能楽体験はこの「太田町能楽プログラム」のご協力により、毎回数名の能楽師の方に来校していただき実施している。その内容は、体育館で能楽についての簡単なレクチャーを受けていくつかの演目を鑑賞し、後半は能楽で使用する楽器をご指導いただくというものである。

能楽を見るのは初めてという生徒が大半であるが、講師の先生方のお話と熱演に引き込まれ、興味深げに鑑賞している。体験コーナーでも、笛・小鼓・大鼓・太鼓といった能楽で使用する楽器の指導を楽しそうに受けている。したがって生徒の感想は前向きなものが多い。具体的には、「地元にながらこうした芸能があるということを知った」、「講師の先生方の演技に引き込まれた」等、初めて出会う伝統文化に素直に感動したといった内容のものである。特に今年は偶然にも、地元の生徒で「太田町能楽プログラム」に参加していた生徒がおり、同級生にこうした活動を行っている生徒がいることに感動したという生徒もいた。



### 3. 成果と課題

地域の伝統文化に触れて興味・関心を持たせる、という目的は達成できている。一方で、生徒各自の地元に向けさせ、自分が生活する地域の文化の関心をどう向けさせていくか、ということが今後の課題である。